

# 生物産業学部

## 1. 教育研究上の目的

本学部は、人類生存にとって極めて重要な生物産業（生産、加工、流通・ビジネス）と自然環境との共生をテーマに、これらを取り巻く自然科学的・社会科学的現象を教育研究の基盤とした文理融合の体系的な学びを通して、生命・食料・資源・環境問題に関する深い知識を持ち、持続的循環型社会に貢献しうる人材を養成する。

## 2. 教育目標

生物産業学部は、その教育研究上の目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 広義の農学を基盤とした生物産業学に関する高度な専門知識と技術を幅広く有する者
- (2) 生物産業学の専門家としての意欲と責任を自覚し、実学主義のもと意欲的に課題に取り組む問題解決能力を有する者
- (3) コミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を有し、社会貢献できる者

## 3. ディプロマ・ポリシー

生物産業学部は、建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、わが国有数の生物資源・自然資源を持つ北海道オホーツク地域という学びのフィールドを通して「生きる力」を育み、「農の心」を持った生命系のバリューチェーン（土－農－食－医－健）の構築を目指した、21世紀の持続的循環型社会に貢献できる人材を輩出するため、全学部的な教養科目との融合を前提とした専門科目教育課程の体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学・社会科学の両分野にわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 研究室における諸活動および内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、広い視野、異なる文化への理解や関心、他者への柔軟性、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、地域であるいは海外で、活動しうる能力を身につけている。
- (4) 「生命」、「食料」、「環境」、「健康」、「エネルギー」、「地域創成」などにかかわる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

#### 4. カリキュラム・ポリシー

生物産業学部は、生物資源や自然資源を「生産－加工－流通・ビジネス」という生物産業を一貫して学ぶことを「農学」分野における「生物産業学」と捉え、全学部的な教養科目との融合を前提とした各学科が提供する専門科目教育課程の体系的な履修を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針の下に教育課程を編成します。

- (1) 基礎的・基盤的知識の修得と生物産業学に係る実践的な専門科目を体系的に学ぶため、「総合教育科目」、「外国語科目」および「専門教育科目」の3つの科目区分により授業科目を配当するとともに、効果的な学修を行うため、各学科で将来目指すコースごとに必要な実践的専門知識と技術を身につけられるよう、履修モデルを設定する。
- (2) 「総合教育科目」および「外国語科目」には、「導入科目」、「リメディアル教育科目」および「初修外国語科目」等の区分を設け、異文化理解および国際的視野を形成し、かつオホーツクという立地的特性を考慮した特色ある科目を配当するとともに、専門教育科目を修得する上で必要な基礎的科目を配当する。
- (3) 「専門教育科目」には、「専門共通科目」、「創生型科目」および「学際領域科目」等の区分を設け、生物産業学の基礎となる科目をはじめ、オホーツク地域の自然環境や研究フィールドを活かした授業科目や、「生産－加工－流通・ビジネス」というアグリ・フードビジネスを一貫して学ぶ「オホーツク学」等を配当する。
- (4) 「専門教育科目」の「総合化科目」には、実践的専門知識と技術を修得させる多くの実験・実習・演習科目を必修科目として配当するとともに、課題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等を育成するために、4年間の学修の集大成となる「卒業論文」を必修科目として配当する。

#### 5. アドミッション・ポリシー

生物産業学部は、現代社会にとって不可欠な生物産業（生産－加工－流通・ビジネス）と自然環境の共生をテーマに、わが国有数の生物資源・自然資源を持つ北海道オホーツク地域という学びのフィールドと“冒険は最良の師である”という格言に基づく人間力の育成を重視した教育課程により、21世紀の持続的循環型社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本学部では、次のような学生を求めています。

- (1) フロンティア精神・チャレンジ精神を持ち、将来、地域や組織のリーダーとして社会に貢献したいという志を有している。
- (2) 生物産業（生産－加工－流通・ビジネス）およびこれらを統合した6次産業化を、実体験の中で学ぶことに強い関心がある。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有し、協働して課題解決にあたることができる。
- (4) 生物産業学を学ぶにあたり、各学科が求める基礎的学力と必要な知識を修得している。